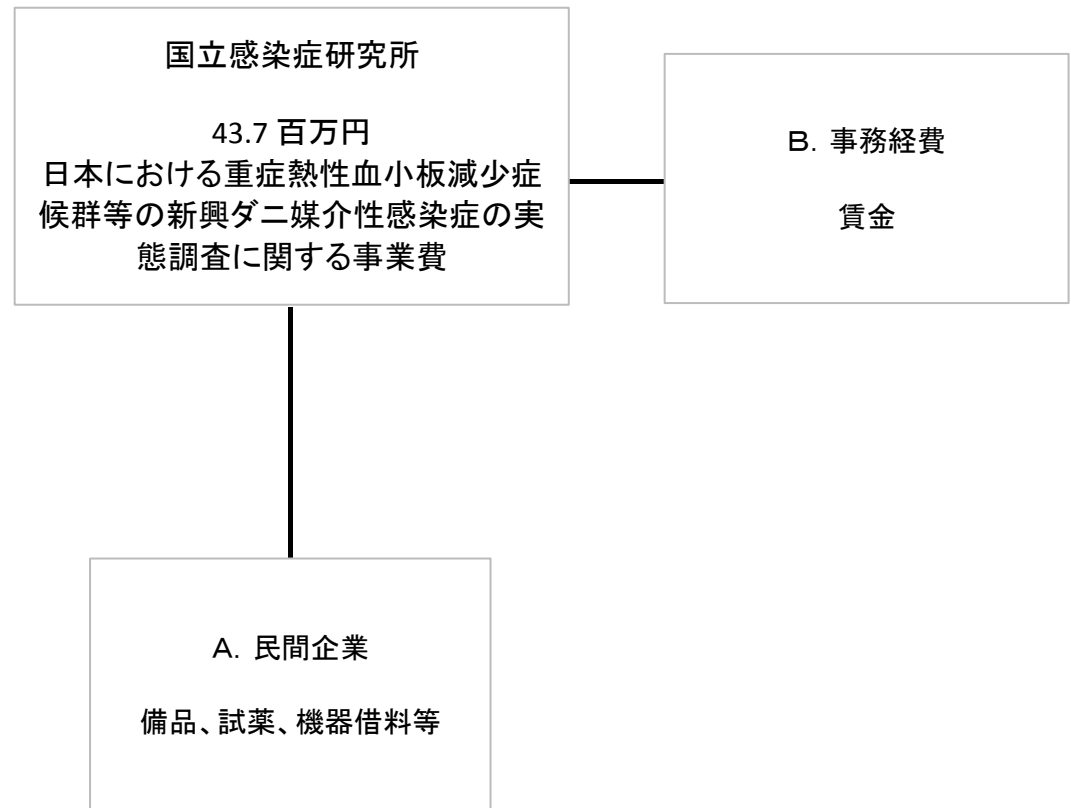


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	新興・再興呼吸器感染症への対策事業費		担当部局庁	国立感染症研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	総務部会計課		金山 和弘		
会計区分	一般会計		政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本における重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の流行状況および疫学的・臨床的特徴と感染リスクを明らかにし、さらに診断体制の維持・向上、診断技術の開発、治療・予防法を開発する。また、医療機関や地方衛生研究所等へのSFTSの継続的な診断支援、診断技術の提供を行う。また、前方視的なSFTS患者発生状況を調査し、さらにマダニおよび動物間でのSFTSウイルスの存在様式を明らかにする。SFTSウイルスのヒトへの感染リスクを明らかにして感染症対策を講ずる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. SFTS対策に貢献するための研究環境整備：(ア) SFTSの継続的な診断支援体制の維持・向上、(イ) SFTS患者血清からのウイルス分離および分離株の保管、(ウ) 動物またはマダニからのウイルス分離および分離株の保管、(エ) SFTSウイルス日本分離株の保管と提供、(オ) 治療法および予防法を開発を含めた研究(厚生労働科学研究補助金による研究課題)の支援 2. SFTS診断技術開発と改良：(ア) 感染性SFTSウイルスを用いないでSFTSウイルスに対する抗体を測定するシステム開発、(イ) SFTSウイルス同定用標準血清の作製と提供 3. 地方衛生研究所との相互的技術支援：技術開発等を通じて日本全国でSFTSの診断ができるような体制を構築することに貢献する。 4. 日本におけるSFTSの疫学的・臨床的特徴の解明と感染リスクの同定：前方視的にSFTS患者の臨床的疫学的情報を収集し、日本におけるSFTSの感染リスクを明らかにする。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	44	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
	計		-	-	-	-	44	
	執行額		-	-	-	-	-	
執行率(%)		-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)
	H26年度からSFTSの前方視的疫学調査(マダニや動物における感染を含む)を開始し、SFTS感染リスクを評価する。また、H27年度までに組換え抗原を用いたSFTS抗体検出システムを開発する。継続的にSFTSの診断を支援する。		成果実績	-	-	-	-	組換え抗原を用いSFTS抗体検出システムの開発
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
			活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
					( )	( )	( )	( )
単位当たりコスト	(円/ )		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	備品費	0	3	26'新規要求 「新しい日本のための優先課題推進枠」44				
	消耗品費	0	24					
	通信運搬費	0	1					
	借料	0	13					
	賃金	0	3					
	計		44					

事業所管部局による点検				
	項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国費の投入が必要
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施する事業である
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-	-
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
点検結果	-			
外部有識者の所見				
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
	本事業は、健康被害が甚大な呼吸器感染症に対する危機管理の基盤となる事業であり、必要性の観点から優先度の高い事業である。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
	-			
備考				
	-			
関連する過去のレビューシートの事業番号				
	平成22年		平成23年	平成24年

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位：百万  
円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					